



平成30年11月9日

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会事務局

横須賀市にて今年3月スタートした、「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」の取組みとして
**「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ
ビジネスアイデアコンテスト2019」開催**
学生・ビジネスマン等個人やグループ・企業からビジネス企画募集

横須賀市、YRP 研究開発推進協会等が事務局となり、産学官で構成するヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会は、スマートモビリティ(スマートな移動性)による社会的課題の解決と新規ビジネス創出の取組みの一環として、横須賀が目指す3つのまちづくりのビジョンを、スマートモビリティで実現することをテーマに、人・モノ・サービスの移動をスマートにする新ビジネス企画を募集します。

コンテスト WEB サイト : <https://www.sukamobi.com/idea/>

※横須賀が目指すまちづくりと、募集するビジネス企画は、ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジのWEBサイトのコンテストのページをご覧ください。このページから登録・応募できます。

■募集する新ビジネス企画のテーマ

お年よりや障がいのある人、困っている人を助ける。住む人、訪れる人でにぎわい、まちと暮らしが元気になる。スマートモビリティの観点から、そういった「まちづくり」を実現するための企画、産業を高度化する新たなビジネスの企画を募集します。

**テーマ①誰もひとりにさせないまち
「生活サポートビジネス企画」**

**テーマ②新たな価値をつくるまち
「新たなまちの移動ビジネス企画」**

**テーマ③活力に溢れるまち
「まちに賑わいを生むビジネス企画」**

■ **応募資格** 個人、企業、団体、任意のグループのいずれでも可。

■ **募集期間** 2018年12月10日(月)応募〆切

■ **審査方法** 学識経験者と主催者により審査します。

1次審査：応募されたビジネス企画を審査。10企画程度が1次審査通過の予定。

2次審査：2019年1月24日(木)に横須賀 YRP で開催のイベント会場で企画発表、実現性・実現方法を審査。

■ **賞** ◆ **グランプリ：賞金 30 万円(1 企画)**

◆ **優秀賞：賞金 5 万円(2 企画)**

◆ **奨励賞：賞金 1 万円(3 企画)**

◆ **企業等提供特別賞 (予定)**

■ **主催** ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会

【運営・お問い合わせ】

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ ビジネスアイデアコンテスト事務局

(株式会社三菱総合研究所内 担当：田中、目黒

電話：03-6705-6015 (受付時間 平日 10:00~17:00) メール：yokosuka-mobi@mri.co.jp



【参考資料①】

■募集する3つのテーマ概要

テーマ①誰もひとりにさせないまち「生活サポートビジネス企画」

横須賀の市域に平坦地が少なく、多くを占める山地、丘陵のうち比較的市街地に近い地域は宅地として利用されてきました。こうした地域で住民の高齢化が進み、安心して住み続けられるまちづくりやコミュニティの維持等が課題となっています。

このような移動が困難な場所でも、ストレスなく生活できる、高齢者が外出したくなるモビリティサービスに係るビジネス企画を募集します。

テーマ②新しい価値をつくるまち「新たなまちの移動ビジネス企画」

人口の減少が続く横須賀市では、将来的に、まちの拠点を集中させ、その周りにコンパクトな居住地区が広がる新しいまちづくりの発想が必要とされています。

このようなコンパクトなまちにフィットする、スマートで使いやすく、安全でクリーンで維持コストが低い、効率的な移動や交通に関するビジネス企画を募集します。

テーマ③活気に溢れるまち「まちに賑わいを生むビジネス企画」

横須賀には三浦半島の食や自然、風土や史跡に恵まれた環境があります。現在、市内全体を軍港資料館として捉えたルートミュージアムの構築を進めており、地域資源間の周遊ルートの創出に取り組んでいます。

このような横須賀の魅力をスマートな移動で引き出し、域内外の人が訪問・滞在したくなるビジネス企画を募集します。

※テーマについて詳しくは、「**ビジネスアイデアコンテスト**」WEBサイト：
<https://www.sukamobi.com/idea/> をご覧ください。

■募集チラシビジュアル



【参考資料②】

■ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジについて

横須賀では、スマートモビリティ（スマートな移動性）の開発・実装を推進し、この成果をまちづくりに生かすことによって、地域の課題解決や、活性化を図る取組みを進めています。この取組みにより、横須賀において次世代モビリティ社会を先駆的に実現し、横須賀モデルとして日本・世界に展開することにより、新たな産業の中心地を目指します。

「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」は、産学官で構成するヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会（事務局：横須賀市、YRP 研究開発推進協会、(株)横須賀テレコムリサーチパーク）が、横須賀をフィールドとしたスマートモビリティの開発・実証を推進し、同市における関連・周辺産業の集積を図るとともにこれらの産業資源を活用して、新たな事業の創出、社会課題の解決、地域活性化等を促進しています。

■目標

横須賀が目指す3つのまちづくりのビジョン（「誰もひとりにさせないまち」、「新たな価値をつくるまち」、「活かに溢れるまち」）を、スマートモビリティの社会実装をつうじて先駆的に実現するとともに、これらの成功モデルを日本・世界に展開することにより、横須賀を次世代モビリティに係る新たな産業の中心地とする。

■推進体制

平成30年3月、この取組みを産官学の関係団体が一体となって総合的に推進するため、「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会」が設置されました。

会長：中村 文彦	横浜国立大学 理事（副学長）
副会長：規矩 大義	関東学院大学 学長
荒川 堯一	横須賀市観光協会 会長
岡田 英城	横須賀商工会議所 議員
掛江 浩一郎	関東運輸局 局長
角野 然生	関東経済産業局 局長
門脇 直人	(国研)情報通信研究機構 理事
黒瀬 泰平	関東総合通信局 局長
篠崎 資志	(国研)海洋研究開発機構 理事
鈴木 立也	横須賀市社会福祉協議会 会長
田中 茂	横須賀市 副市長
玉垣 努	神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 専攻長
土井 三浩	日産自動車(株) 総合研究所 所長
中村 寛	(株)NTT ドコモ 取締役常務執行役員(CTO)、R&D イノベーション本部 本部長
原田 一之	京浜急行電鉄(株) 代表取締役社長
堀 洋一	東京大学大学院 新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻 教授
山本 洋一	神奈川県 産業労働局 産業部 部長

顧問：小泉 進次郎	衆議院議員
同：鈴木 茂樹	総務省 総務審議官
同：上地 克明	横須賀市 市長



【参考資料③】

■ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 開催概要

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019 開催

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会は、我が国におけるスマートモビリティに係る開発成果を横須賀・YRPに一同に集結させ、横須賀が目指すスマートモビリティを活用した未来のまちづくりの方向性を指し示し、広く一般にその可能性を体験していただくこと等を目的として、「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2019」を開催いたします。

同イベントでは、開発・実証に関わる産官学の各界の組織や個人、市民や子どもたちが集い、ビジネスアイデアコンテストの公開2次審査・表彰式を行うのをはじめ、スマートモビリティのデモンストレーション・展示、シンポジウム等を行います。

■開催時期： **2019年1月24日(木)～1月26日(土) 10:00～17:00 (最終日は16:30終了)**

※1/24(木)は、プレス等向けのプレビューデー

■開催場所： 横須賀リサーチパーク (YRP) の施設や道路 等

■プログラム：

- ・オープニングセレモニー 横須賀スマートモビリティ宣言
- ・ビジネスアイデアコンテスト 2019 2次審査・表彰式
- ・デモンストレーション・展示
- ・シンポジウム

■開催ポイント：

・スマートモビリティを活用した未来のまちづくりを宣言

高齢者や障がい者、困っている人が、便利に安全に生活を維持できるモビリティ。

人口減少社会においても、持続可能なコストで交通機能を維持できるモビリティ。

地域外や海外から人を呼び込み、域内を楽しく周遊できるモビリティ。

これらの実現に向けた活動方針を示し、横須賀市における実現を宣言します。

ビジネスアイデアコンテストでも企画提案を集め、シンポジウムでは、今後、地方自治体と交通事業者等の企業が一体となって、スマートモビリティを活用したまちづくりを推進していく方法について議論します。

・先端的なモビリティを来場者が体感

デモンストレーション・展示では、自動運転の自動車・バスや次世代型のパーソナルモビリティなどが、一堂に会したスマートモビリティの最新成果を体験できます。



次世代型パーソナルモビリティ
(生活支援機能)



浮遊球体ドローンディスプレイ



観光用低速電動コミュニティバス (自動走行)